

## RELATIONS MAGAZINEバックナンバー

2020年春より発行してきたRELATIONS MAGAZINEのバックナンバーをお届けします。  
紙媒体での送付をご希望の方は、お気軽に事務局までお問合せください。

- Vol.1 創刊号～2020年4月～6月のトピックス
- Vol.2 【特集】 大学×地域 滞在型プロジェクト／熊本豪雨災害被災地支援活動～遠隔での支援活動～
- Vol.3 【特集】 滞在型活動拠点”浜益ベース”
- Vol.4 距離を超えた可能性広がる オンライン特集号
- Vol.5 【特集】 ボランティアメンバーの本音。
- Vol.6 【特集】 地域と教育にふれる～地域と教育にふれる滞在型プログラムの事例から
- Vol.7 “179RELATIONS.net”はどうやってつくられているのか
- Vol.8 持続可能な地域の未来を考えるテキストブックを作成しました！

全ての紙面には各時期のトピックを記載しています。右記のURLよりご覧いただきます →



## 関係人口創出プロジェクト「179リレーションズ」とは

179リレーションズでは、北海道各地の”地域に関わる「入り口」”をつくります。ひとつひとつのまちや活動に注目し、住んでいる場所や世代を超えて誰もが対等な関係性を大切にしながら、若者をはじめとする次世代の担い手が育ち、変化に強い持続的な地域がつくられていくことを目指します。

特に以下の項目を重点項目として展開しています。

- ① 「関係人口」創出により、地域外の若手人材を地域の活動へ巻き込みます。
- ② 地域内の若者が、主体的に展開する様々な活動と連携します。
- ③ 関係人口創出WEBマガジン「179RELATIONS.net」から参加する若者のリアルな声をお届けします。

季刊誌「RELATIONS MAGAZINE」では、179RELATIONSの最新情報やホットな話題をお届けします。みなさんとの連携のきっかけになればと思いますので、気になる情報や活動がありましたらお気軽にお問合せください。



## 運営団体「NPO法人ezorock」とは



“ezorock”は、「社会を揺り動かす」という理念のもと、2000年に行われた「RISING SUN ROCK FESTIVAL」における環境対策活動をきっかけに2001年4月に設立されました。青年層のネットワーク拡大とともに、北海道の地域課題に対して、若者のアイデアやパワーを届ける事業を展開。活動を通して若者が自らの人生と社会を切り開いていく機会を作り出しています。

2019年度実績  
活動日数 318日 人数のべ1645人 地域 24市町村

関係人口創出プロジェクト「179リレーションズ」季刊誌

# RELATIONS MAGAZINE!

PRODUCED BY ezorock

〒064-0809 札幌市中央区南9条西3丁目1-7

TEL/FAX 011-562-0081

E-mail info@ezorock.org

WEB <https://www.ezorock.org/>

<https://www.facebook.com/ezorock/>

<https://179relations.net/>



<https://www.ezorock.org/>



# RELATIONS MAGAZINE!

2022.8  
vol.9

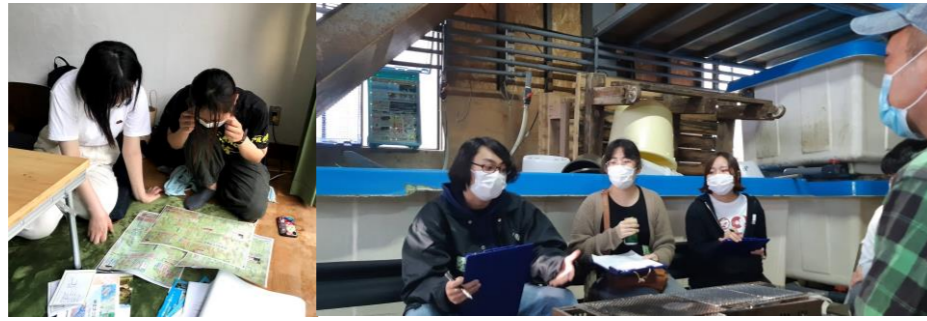


<https://179relations.net/>

RELATIONS



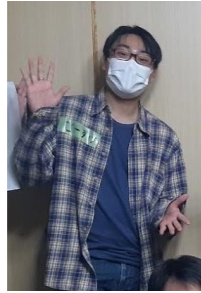
# 関係人口としての想い



集落の教科書づくりに関わるために、1年間でのべ50人以上の都市部の若者が浜益を訪れました。制作のプロセスの中で地域の魅力に気が付いたり、再認識することが集落の教科書の特徴のひとつです。特に浜益では、初めて地域を訪れる若者が多く携わり、関係人口創出のきっかけにもなっています。

中居豪佑▶  
公立千歳科学技術大学  
4年

2021年より  
浜益ベースに関わり  
始める。2022年度は  
ボランティアリーダー  
を務め、浜益での活動  
を作っている。



私が浜益の集落の教科書作成の活動に関わり始めたのは2021年8月でした。関わり始める前まで「浜益」のことは全く知りませんでした。しかし、関わり始めるとどんどん浜益の魅力に取りつかれ、気が付いたら今年度の浜益ベースのリーダーをしています。ぜひみなさんにも、この集落の教科書を読んで浜益の魅力に取りつかれてもらいたいです！



29名の浜益住民の方にインタビューを行い、情報の取りまとめを行ってきました。住んでいる人ならではの地域に対する想いやマニアックな情報が載っています。

浜益版を作りたいとのお話をいただいた時から、ずっとワクワク心待ちにしていた「集落の教科書」。インタビューが始まると、インタビューされた人がその場で次の人を紹介しアポも取る、という形で人の輪が広がっていくのを目の当たりにし、改めて、この地域のポテンシャルの高さを感じました。聞き手も話し手も長時間大変なはずなのに、どちらもとっても楽しそう。作る段階からすでに都会の若者と地方の住人が繋がり、交流し、関係人口が生まれていったと思います。浜益はディープな魅力に満ちています。そして、インタビューを受けてもいいと言ってくださる方（むしろ待っている方）はまだいるはず。初版が出たばかりで気が早いと言われそうですが、改訂に向けて、また浜益に来て、新たな発見をしていただけたら嬉しいです。

# 地域の想い

◀小貫陽子さん  
(石狩市浜益支所)

いつも浜益ベースの取り組みを優しく支えていただいています。



「集落の教科書」は、京都府南丹市で地域づくりを支える団体「NPO法人テダス」から生まれました。「良いことも、そうでないことも、ちゃんと伝えたい」をコンセプトにした、移住のための地域別ガイドです。これまでに京都府内で11地域、府外で6地域で制作されており、「浜益版集落の教科書」は北海道で初めての集落の教科書です。元々は、移住定住者向けに地域とのミスマッチングを予防するためにつくられた1冊ですが、浜益では「住んではないけれど、その地域に通う地域の地域のファンである「関係人口」」を対象に、項目や見せ方をアレンジして作成しました。



特徴その①  
“良いことも、そうでないこと”もきちんと伝えるのが「集落の教科書」の大事なコンセプトです。観光パンフレットに載っているようなことではなく、その地域で暮らしていくために必要な情報や暮らしてみないと分からないような情報を集めた冊子です。

特徴その②  
最初に目次を作ってから、インタビューを始めるのではなく、地域の方や移住者予備軍の人たちにヒアリングをするところから制作が始まることもポイント。地域側、都市部側お互いの情報の押し付け合いではなく、教科書制作の過程の中で関係者の感覚のすり合わせが行われるところも教科書づくりの面白いところです。



石狩市浜益区で「集落の教科書」づくりが始まったのは、2021年春。テダスの事務局田畑さんをオンラインゲストとして招いたところから始まりました。そこから1年間をかけて主に6名の札幌近郊在住の若者と浜益区地域おこし協力隊の手によって制作されました。「集落の教科書」は制作する過程や完成版を経て、どんどん次のアイデアが出る地域づくりのツールでもあります。これからの浜益での取り組みや、北海道各地へ広がっていくことが楽しみです！

# 集落の教科書とは

▼NPO法人テダス  
京都府南丹市に拠点を構える  
中間支援組織。



集落の教科書は、南丹市世木地域（人口約700人）で第一版が発行されました。そこから京都府内外へ広がり、2021年には書籍『集落の教科書の作り方』を出版されました。詳細や地域の教科書本編は下記URLから↓



活動日数のべ51日 ボランティアミーティング回数91回 運営メンバー23人 (2022年4月～6月)

続々更新中！

3年ぶりのシカ棚  
再建プロジェクト

ACTIONS 134

「持続可能な地域の未来を  
考えるテキストブックを  
作成しました！」  
RELATIONS MAGAZINE  
vol. 8 発行！

森のようちえんの現場から！  
「森のようちえんって  
どんなところ？」編

ACTIONS 122

「いのちの想いに  
いただきます！」

ACTIONS 128

「浜益版集落の教科書  
Ver.1」完成！

WEBマガジン記事  
ピックアップ

INTERVIEW

5月  
季刊地域NO.49  
(浜益集落の教科書)

7月2日  
北海道新聞  
(浜益集落の教科書)

6月

1日 大雪山国立公園旭岳  
長期滞在プログラム  
12日 浜益2021年度報告会  
15日 浜益地域協議会参加  
18日 浜益果樹園プログラム  
19日 自然保護プロジェクト  
月に一度は森づくり  
@ 苫小牧

5月

5日 鷹栖勉強会  
@ オンライン実施  
28日 月に一度は森づくり  
@ 苫小牧

4月

2日 浜益ベース整備開始  
3日 シカ革なめし体験開始  
16日 鷹栖町ロケ  
17日 プログラム第二弾  
29日 179 REPORT vol.3  
鷹栖、いつて  
きました！ 配信  
30日 浜益お花見企画